

## エ 指導略案〔図-12〕

指導略案について、1つの授業は単元の個人目標を達成の途中であるという考えから、日々の授業の略案では個人目標を設定しない様式に変更した。その他の変更はなく、引き続き「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善できるよう、それに関する記入欄を設けた。

なお、運用について、授業者同士で連携を図るという条件で、本来、毎時間すべての授業で作成すべき略案の作成・配布の頻度等を学習グループで調整することを可とした。

### 高等部2年生活単元学習指導略案

日時：令和3年4月19日（月）10：40～12：00

場所：会議室

対象：高等部2年生 指導者：2年生担任

1. 単元名 「1年生が喜ぶ歓迎遠足の準備をしよう！」

2. 本時のねらい

○ゲームに必要な道具やプログラムの作成において、自分の作業をやり遂げたり、協力したりすることができる。（職）

○自分の考えや出した意見の理由などを加えて、分かりやすく話すことができる。（国）

3. 展開

| 時間    | 学習活動  | 指導・支援  |
|-------|---|--|
| 10：40 | ・ 始めの挨拶をする。                                       | ・ 日直に依頼する。   |
| 10：41 | ・ 今日の学習の流れを知る。                                    | ・ ホワイトボードに提示する。  |
| 10：45 | ・ グループでゲームの計画をする。                                 | ・ 前回の計画の場所を確認して、自主的に動くようにする。時間は様子を見て、調整する。   |
| 11：10 | ・ 出発式や対面式の役割を決める<br>出発式…司会とストレッチ係<br>対面式…司会 始めの言葉 | ・ ストレッチなどを入れるかを尋ね、自分達で計画していくようにする。<br>・ 役割の練習を自主的に行うことや28日の出発前にゲームの道具の準備をすることを伝える。 |
| 11：20 | 休憩  |  |
| 11：30 | ・ 司会の打ち合わせとプログラム作成<br>片付け<br>・ 終わりの挨拶をする。         | 必要な道具（ペン、のり、折り紙など）を持ち寄る。<br>・ 日直に依頼する。   |

#### 4. 授業改善について (主体的・対話的で深い学びの視点で)

- ・ゲームの計画では、意見を出さない生徒もあった。これまでに経験したゲーム等を提示させて想起させる時間を設けたい。
- ・話し合いのグループを学年からさらに小さいグループとしたことで、グループの意見調整がスムーズだった。
- ・「なぜそのゲームがいいと思ったのか」、理由等を聞く言葉かけをするとよかった。
- ・自分の作成した物や役割分担で主体的に選択できた。自分の決めた役割を次の授業で意欲的に果たせるように、表を作成して貼りだしておく。

〔図-12 指導略案 記入例〕

#### オ 指導案〔図-13〕

指導案については、単元計画と指導略案の新様式を合わせた様式としたが、授業研究において授業作りの考え方を順に追いながら作成することができるように、目標の記入と評価の記入を分けて配置した。また、前期研究での指導案では、本時の目標や評価に対してのみ、育成を目指す資質・能力の3つの柱のうちのどの達成をねらうか記号で書くようにしたが、単元計画と同様、単元を通して記述式の観点別評価を行うこととしたため、本時について特化して記入する項目は設定しなかった。

### 中学部数学科 学習指導案

日 時 令和3年10月○日(○) 9:35~10:25  
場 所 中学部○年教室  
対 象 中学部○グループ生徒5名  
指 導 者 ○○ ○○

#### 1. 単元名 「形を分けよう合わせよう」

#### 2. 単元について

本単元は、中学部2段階 図形、角の大きさにかかわるものである。・・・・・・・・

#### 3. 単元の目標

- 二等辺三角形などの図形について知り、作図などを通して性質について理解することができる。(中2段階)
- 角度について、図形の作図などを通して考えることができる。(中2段階)

#### 4. 単元の計画（全9時間）

| 次 | 時 | 日時                           | 学習内容     | 指導内容（学習指導要領か学習内容表から）  |
|---|---|------------------------------|----------|---|
| 1 | 4 | 8/26<br>8/31<br>9/ 1         | 三角形をかこう！ | <ul style="list-style-type: none"> <li>二等辺三角形，正三角形などについて知り，作図などを通してそれらの関係に着目すること。（中2，知・技）</li> <li>二等辺三角形や正三角形を定規とコンパスなどを用いて作図すること。（中2，知・技）</li> </ul>                              |
| 2 | 6 | 9/ 8<br>9/14<br>9/16<br>9/28 | 角度を調べよう！ | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な図形と関連して角について知ること。（中2，知・技）</li> <li>直線の平行や垂直の関係について理解すること。（中2，知・技）</li> <li>円について，中心，半径及び直径を知り，円に関連して，球についても直径などを知ること。（中2，知・技）</li> </ul> |

#### 5. 単元の個人目標

| 生徒 | 個人目標  |
|----|---|
| 〇〇 | ①二等辺三角形などの図形について知り，辺の長さなどの特徴を知ることができる。<br>②図形ごとに角度に違いがあることについて知ることができる。   |
| 〇〇 | ①二等辺三角形などの図形について知り，正三角形などとの違いを説明する<br>②正多角形ごとの角度の違いや性質について，作図などを通して自分で考える |

#### 6. 本時のねらい（各教科等）

- 定規やプログラミングを用いて作図をすることができる。（中2）
- 角の大きさを，回転の大きさと捉えることができる。（中2）

#### 7. 本時の個人目標

| 児童生徒 | 個人目標   |
|------|--|
| 〇〇   | ①プログラミングを用いて正三角形を作図することができる。<br>②図形ごとに角度に違いがあることについて知ることができる。                                    |
| 〇〇   | ①正多角形ごとの角度の違いに自分で気づき，プログラミングを用いて正三角形と正方形を作図することができる。<br>①正多角形ごとの角度の違いや性質について，作図を通して自分で考えることができる。 |

## 8. 本時の展開

| 時間   | 学習活動   | 指導・支援   |
|------|--|---|
| 9:35 | 1. 挨拶をする。                                    | ・全員の視線を確認してあいさつをする。   |
| 9:40 | 2. 前時の学習を振り返り、今日の学習を知る。                      | ・前時の振り返りでは、三角形の作図の仕方の確認ができるよう、電子黒板に教科書のページを表示する。<br>・角の大きさが $60^\circ$ であることを確認した上で、それを踏まえて他の図形がどうか考える。<br>・本時の流れを提示する。<br>・机間指導をしながら、生徒が難しいと感じている状況を見極め、必要に応じてヒントを出したり一緒に考えたりする。 |
| 9:50 | 3. 正方形や正六角形などの角はどうなっているかワークシートに自分なりに考えをまとめる。 | ・一人ひとりがスムーズに図形を作図することができるようタブレットPCを準備する。<br>・正三角形と正方形の違いに気づき、辺の数や辺と辺の間の角に注目できるよう、作図のポイントを一緒に確認したり、思考を促す言葉かけをしたりする。  |

## 9. 場の設定

## 10. 本時の個人目標の評価

| 生徒 | 個人目標                           | 評価 | 評価の根拠                  |
|----|--------------------------------|----|------------------------|
| 〇〇 | ①プログラミングを用いて二等辺三角形を作図することができる。 | ○  | アプリの指示を理解し、作図することができた。 |
|    | ②図形ごとに角度の違いがあることについて知ることができる。  | ○  | 角度の大きさに注目することができた。     |

## 11. 授業改善について

- ・友達同士の教え合いの時間を設定してはどうか。
- ・生徒のつぶやきを拾い、角度や性質の違いをどのように捉えているか、把握する。

## 12. 単元の個人目標の評価

| 生徒 | 個人目標  | 評価 今後に向けて   |
|----|---|---|
| 〇〇 | ①二等辺三角形などの図形について知り、辺の長さなどの特徴を知ることができる。<br>(数学一中2段階) | <p><b>ア</b> コンパスや分度器などを使った作図を通して、二等辺三角形の角度や正多角形の辺の長さなどについて知ることができた。</p> <p><b>イ</b> 図形の辺の長さや直角などを意識して図形の名称を考えることができた。</p> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | <p>ウ 色々な図形をきれいに作図しようとしたことができた。</p> <hr/> <p>今後に向けて</p> <p>図形の特徴を使った角度の問題などには苦手意識があるので、簡単なものから繰り返し行うことで解ける問題が増える。</p> |
| <p>ア「知識・技能」    イ「思考・判断・表現」    ウ「主体的に学習に取り組む態度」</p>   |  |  |
| <p>13. 単元について気付き・意見・今後に向けて</p>   |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT は楽しんで取り組むためによい材料になった。一方で、タイピングやパソコンの操作などに苦手意識がある生徒もあり、一人ひとりに合った手立てが必要だった。具体的に言うとローマ字表など。</li> <li>・ 角度が変わると図形も変わることが直感的に理解できた様子であった。</li> </ul> |  |  |

〔図－13 指導案 記入例〕

以上のように、カリキュラム・マネジメントに係る各計画の様式等の見直し、改善に取り組んだ。このような取組は、カリキュラム・マネジメントを進めるための重要なプロセスであった。「記入のしやすさ」などは、一見方法の問題に過ぎないとも捉えられるが、記入項目について深く掘り下げて考えると、教育課程や各教科等の内容をどのように理解し、整理するかという内容について考察することにつながった。今後も継続して使用する中で、一つの項目を記入する意義等も含めて、教師間で話し合いながら、評価・改善を図り、よりよい児童生徒の学びの姿が見える様式となるように取り組みたい。

### 3 カリキュラム・マネジメントに係る各計画の活用

#### (1) 年間指導計画の共有

カリキュラム・マネジメントに係る各計画の中で、特に年間指導計画については、他の計画と比較すると目にする機会が少なく、活用している実感がない、という課題が挙げられていた。前期研究では、年間指導計画を児童生徒一人ひとりの個人ファイルに保存し、個々がどんな学習に取り組むかを把握できるようにしたが、それでは、他学年や他学部の年間指導計画を確認できる仕組みとなっていなかった。

そこで、今期研究では、作成した年間指導計画を拡大印刷し、職員室に掲示することとした。〔図－14〕。教師が、日常的に他学年や他学部の年間指導計画を確認できる環境とすることで、他の学年・学部の状況を意識するとともに、今の学びが次の学年や次の学部のどのような学習につながるかの参考にすることができると考えた。



〔図－14 職員室での年間指導計画の掲示〕

改めて、作成された各学部・学年の年間指導計画を確認・比較すると、学部や学年によって記入内容が異なっており、特に「指導内容」の違いから、今後の取り組むべき研究のヒントとなることも見えてきた。

カリキュラム・マネジメントに係る各計画の作成マニュアルでは「指導内容」について「学習指導要領の各教科等の内容や学習内容表から語句を抜き出して記入する。」と記載していたが、どのように抜き出すかが不明確だったために、教師によって違いが生じた。また、1つの指導内容について複数の教科名を挙げている表記があった。この要因としては、学習グループの児童生徒を想定して取り組みたい指導内容は明確にしているものの、児童生徒全員の実態を確実に把握していない段階では、教科を確定はできない状況であるからと考えられた。

例えば、小学部で「挨拶をすること」を指導内容とする場合、学習指導要領に示されている各教科の内容で言えば、「国語」か「生活」が考えられる。

「国語」では「挨拶などの日常生活や遊びに必要な言葉のやり取りを繰り返したり（略）（小学部2段階 以下小2段階）」、「挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うこと（小3段階）」とあり、言葉としての挨拶に慣れ親しんだり、習得したりすることが指導内容となる。「生活」では「教師や身の回りの人に気づき、教師と一緒に、簡単な挨拶をしようとする（小1段階）」、「身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話をしようとする（小2段階）」とあり、自分に関わる人に気付いたり、知ったりして関わりをもつことが指導内容の中心となる。こうした想定に基づいて、次に児童生徒の実態の把握が十分にできて、はじめて指導内容が確定できるのである。

さらに、「指導内容」と「活動内容」の混同が多く見られた。指導内容の記入に際しては、事前に活動内容との違いについて説明し共通理解も図ったが、それでもなおこういう状況が見られた。その要因としては、本来、児童生徒の実態に基づいて、「児童生徒に〇〇を学ばせたいから、教師は〇〇の単元を設定する」という流れであるはずが、年間指導計画作成や単元計画作成の段階において、「例年〇〇という単元を行う



が、そこに〇〇という指導内容を組み入れられるのではないかと、毎年の流れ重視・単元ありきの思考になっているからではないかと推測できる。もちろん、学校行事との関連や、学部・学年で毎年繰り返し取り組んで経験を積むことで学びが確立される単元もあるが、その場合も「児童生徒にどんな資質・能力を育成するか」という視点を大切に、指導内容と活動内容を整理していかななくてはならない。

今後は、年間指導計画を教師間で見合いながら意見交換し、よりよい表記の仕方や単元の組み方を探っていくことが重要であり、今後の課題である。教師が教科の見方・考え方を踏まえて指導内容についての考察を深めなければならないということも分かった。

## (2) カリキュラム・マネジメントに係る各計画のファイリングとサーバー管理

各計画とその評価は、担当する教師が替わっても引き継がれていくことに価値があることから、これらを円滑に引き継げるよう計画的に保存・管理するための「カリキュラム・マネジメントファイリング計画とサーバー管理計画」〔表-5〕に取り組んだ。

具体的には、教師にとって活用しやすいものになるよう、カリキュラム・マネジメントに係る各計画を回覧できる紙媒体で保管するとともに、データも共有の分かりやすいフォルダに保存し、適切に管理することとした。

〔表-5 カリキュラム・マネジメントファイリング計画とサーバー管理計画〕

|          |                                  |          |                        |
|----------|----------------------------------|----------|------------------------|
| ファイリング計画 | ①学びの履歴<br>(個別のカリキュラム・マネジメントファイル) | サーバー管理計画 | ③年間指導計画のフォルダ           |
|          | ②学部のカリキュラム・マネジメントファイル            |          | ④学部のカリキュラム・マネジメントのフォルダ |

ファイリング計画①「学びの履歴」〔図-15〕は、本校独自に作成した各教科の「学習内容表（各教科の内容を学習指導要領や各教科等の解説等を読み込んで一覧として配列したもの）」を児童生徒一人ひとりに印刷し、担任等が紙上でチェックして、学んだ内容と習得状況及び今年度習得を目指すものを把握してファイルに綴じたものである。また、年間指導計画を一緒にファイルに綴じ込むことで、どんな単元でどんな指導内容を取り扱ってきたかも把握することができる。このことについては、「第2章第2節『学習内容表』の作成と活用」でまとめた。



〔図－15 学びの履歴〕



〔図－16 学部のカリキュラム・マネジメントファイル（高等部）〕

ファイリング計画②の学部のカリキュラム・マネジメントファイル〔図－16〕には、学部ごとに各教科及び指導形態のファイルを準備し、単元計画を綴じ込む〔表－6〕。誰でも閲覧できるところに保管し、目標設定や評価の記入などを回覧しながら行う際に活用する。

〔表－6 学部のカリキュラム・マネジメントファイル各教科（指導形態）〕

|     |        |           |                   |     |                          |
|-----|--------|-----------|-------------------|-----|--------------------------|
| 小学部 | A組生単   | 中学部       | 学部体育              | 高等部 | 学部体育                     |
|     | A組音楽   |           | 学部音楽              |     | 学部音楽                     |
|     | A組図画工作 |           | 学部美術              |     | 学部美術                     |
|     | A組体育   |           | 作業で1冊(農耕紙工、縫製、木工) |     | 作業で1冊(農耕紙工、縫製、木工、サービス技能) |
|     | B組生単   |           | 国語で1冊(国A、国B、国C)   |     | 生単で1冊(1年、2年、3年)          |
|     | B組音楽   |           | 数学で1冊(数A、数B、数C)   |     | 国語で1冊(国A、国B、国C)          |
|     | B組図画工作 |           | 1年生単              |     | 数学で1冊(数A、数B、数C)          |
|     | B組体育   |           | 2年生単              |     | 職業で1冊(職A、職B、職C)          |
|     | C組生単   |           | 3年生単              |     |                          |
|     | C組音楽   | A組(1、2年生) |                   |     |                          |
|     | C組図画工作 | B組(3、4年生) |                   |     |                          |
|     | C組体育   | C組(5、6年生) |                   |     |                          |

サーバー管理計画③の年間指導計画のフォルダは、学級ごとに年間指導計画と日常生活の指導の計画を毎年度作成し、前々年度、前年度、今年度、次年度の4年間分保存する〔表－7〕。

また、サーバー管理計画④の学部のカリキュラム・マネジメントフォルダは、②の学部のカリキュラム・マネジメントファイルと連動させて学校のサーバー内に保存する。



〔表－7 年間指導計画のフォルダー一覧〕

| 令和3年度年間指導計画 |    |    |  |     |    |  |     |    |  |
|-------------|----|----|--|-----|----|--|-----|----|--|
| 小学部         | A組 | 1年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> </ul> | 中学部 | 1年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> </ul> | 中学部 | 1年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・☆☆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・★★さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |
|             |    | 2年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |     |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |     |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・☆☆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・★★さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |
|             | B組 | 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |     | 2年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |     | 2年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・☆☆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・★★さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |
|             |    | 4年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |     |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |     |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・☆☆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・★★さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |
|             | C組 | 5年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |     | 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |     | 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・☆☆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・★★さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |
|             |    | 6年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |     |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |     |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画</li> <li>・○○さん日常生活の指導の計画</li> <li>・●●さん日常生活の指導の計画</li> <li>・□□さん日常生活の指導の計画</li> <li>・■ ■さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◇◇さん日常生活の指導の計画</li> <li>・◆◆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・☆☆さん日常生活の指導の計画</li> <li>・★★さん日常生活の指導の計画</li> </ul> |

これまで、学部ごとや学級ごとに年間指導計画や単元の計画等は、授業資料や教材等と共に保存されてきたが、その時の担任等の裁量のレベルで終わっていた。今期研究では、それを一括管理するよう整備することで、年間指導計画の作成や見直し及び単元計画作成時などに、これまでの児童生徒の学習の経緯や、他学部・学年の学習を参考にしやすくなり、学びのつながりを強めることができると考えた。

今後、学年間・学部間の接続や、単元等のアイデアの活用など、確かな学びをつなげるという視点からの効果等の検証を行っていきたい。

#### 4 カリキュラム・マネジメントの全体像の再整理

前期研究で作成した、本校におけるカリキュラム・マネジメントの概要を示すカリキュラム・マネジメント構造図、カリキュラム・マネジメントに係る取組の流れを図示したカリキュラム・マネジメントフロー図について、今期研究において改訂を行った。両図は、「佐大附特システム」を実際に運用する際、カリキュラム・マネジメントのアウトライン及び業務のプロセスを可視化して分かりやすくすることで、体系的に研究全体の把握ができることを狙って作成したものである。

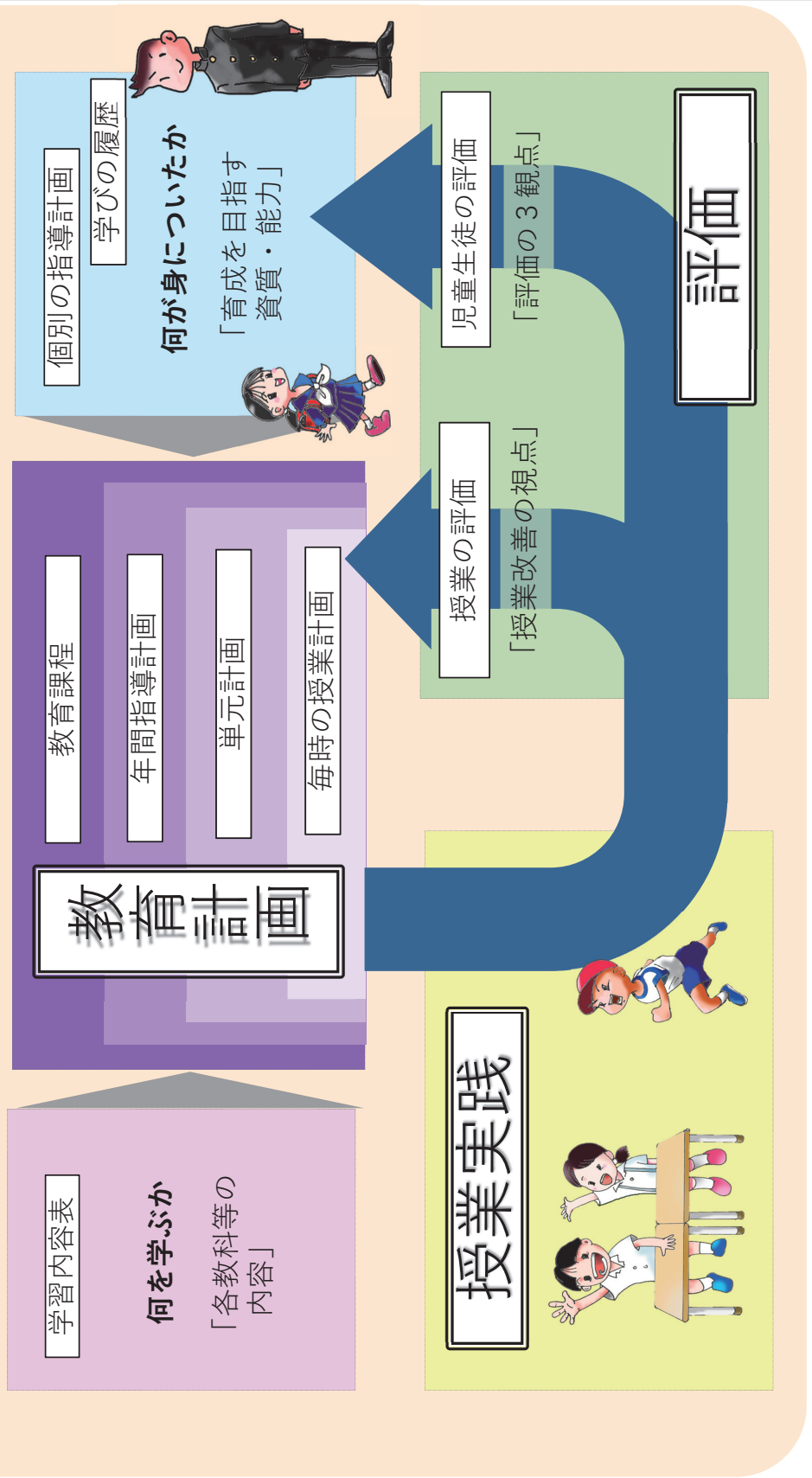
前期研究で構造図とフロー図を作成した後、「佐大附特システム」に沿って「計画－実践－評価」の流れで教育活動を行ってきたが、一連のサイクルが妥当であったかどうかを検証するとともに、今回、実践の中で生まれた新たな取組である「学習内容表」、「学びの履歴」の要素を、両図に組み込むこととした。

##### (1) カリキュラム・マネジメント構造図の改訂〔図－17〕

まず、構造図の改訂については、今回、少人数のグループで話し合い、改訂案を作成し、その後研究部でまとめるという手順で、見直しを図った〔図－18, 19〕。

# 学校教育目標の実現

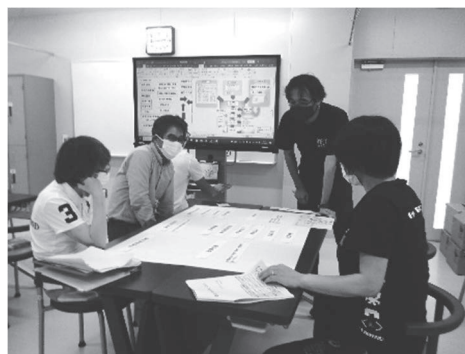
## カリキュラム・マネジメント



〔図-17 カリキュラム・マネジメント構造図 改訂版〕



〔図－18 電子黒板を用いた構造図の見直しの様子〕



〔図－19 模造紙を用いた構造図の見直しの様子〕

改訂した新構造図は、前期研究で作成したものと同様に、中心に教育計画を配置した。教育計画の各段階はそれぞれ独立したものを関連付けているのではなく、教育課程に年間指導計画が包括され、年間指導計画に単元計画が包括され、単元計画に授業計画（指導略案）が包括されているという関係性で捉え直した。この教育計画と教育計画に基づいた授業実践と評価のサイクルがカリキュラム・マネジメントの中核となる。

教育計画を作成する上で、「育成を目指す資質・能力」を明らかにし、そのために取り扱う指導内容を設定する必要がある。「育成を目指す資質・能力」については、「個別の指導計画の目標」及び「学びの履歴」から捉えることができることを図示し、指導内容については、学習内容評価から捉えることができることを図示した。

評価には、「児童生徒に資質・能力を身に付けることができたか。」と、「毎時の授業をさらにどう改善するか。」の2つの視点がある。児童生徒に資質・能力を身に付けることができたかという視点は、単元計画の項目の「単元の個人目標の評価」にあたり、「学びの履歴」や「個別の指導計画の評価」とつながるものであることを図示した。授業改善の視点は、学習指導要領にも示された「主体的・対話的で深い学び」となる授業としていくためにどのように授業を改善できるかについて、教師が授業を振り返る視点である。次の授業計画に直結した視点であると考え、矢印が授業計画に戻るように図示した。こうした評価の視点は、これまでの本校の研究が「育成を目指す資質・能力」と「主体的、対話的で深い学び」をキーワードとして進めてきたことを示すものである。

## (2) カリキュラム・マネジメントフロー図の改訂〔図－20〕

フロー図について、前期研究では、構造図と照合して、漏れがないように多くの項目を掲載したため、カリキュラム・マネジメントの取組のプロセスが分かりづらいという課題に直面した。そこで、まずは、担任や授業担当者にとって「いつ」「何をす

る」のかが分かりやすくなるよう修正を行った。改訂に当たっては、教育課程の検討や個別の指導計画の管理を担当する教務部と協働して取り組んだ。

改訂したフロー図では、細かなフローはカットし、本校にとって重要な位置付けである「学びの履歴」の内容を新たに起こし、「誰が、いつ、どうする」ことを明記した。構造図に示しているように、「学びの履歴」は、「個別の指導計画」と同じく、児童生徒に育成を目指す資質・能力とそのために取り扱う各教科等の内容を明確にするという役割があるため、「個別の指導計画」の欄に加えることとした。

また、構造図ではそれぞれの関係性を表すために、「教育課程」「年間指導計画」「単元計画」の順に提示しているが、今回フロー図では、個別の指導計画及び「学びの履歴」で示される「児童生徒一人ひとりに育成したい資質・能力及び取り扱う各教科等の内容」を明らかにした上で、年間指導計画や単元計画等の教育計画作成に取り組むという、思考や検討の順序性を示すため、「年間指導計画」の上に「個別の指導計画」を配置した。

構造図とフロー図は、カリキュラム・マネジメントを推進する上で、教師間の共通理解と意識向上を図るために欠かせないものである。今後は、研究としてだけでなく、本校教育の全般的な充実のための取組を示す図として、確認や見直しの機会を設けていきたい。

| 年度      | R2年度   |                              |   | R3年度  |   |  |   |  |  |   |            |                           | R4年度  |  |   |   |   |            |
|---------|--|------------------------------|---|---|---|--|---|--|--|---|------------|---------------------------|---|--|---|---|---|------------|
|         | 1  | 2                            | 3 | 4   | 5   | 6  | 7   | 8  | 9  | 10  | 11         | 12                        | 1   | 2  | 3 | 4   | 5   | 6          |
| 教育課程    | 時間割, 指導体制の検討・決定<br>【学部】  |                              |   | 教育課程検討委員会①  | 教育課程編成の基本方針の確認<br>児童生徒の評価に基づく検討<br>【担任】<br>↓<br>学部会での検討<br>【学部】 | 教育課程検討委員会②   | 教育課程検討委員会③  |  | 児童生徒の評価に基づく検討<br>【担任】<br>前期の教育課程実施状況把握<br>【学部】<br>↓<br>学部会での検討<br>【学部】 | 教育課程検討委員会④  | 教育課程検討委員会⑤ | R4教育課程の決定                 | 時間割, 指導体制の検討・決定                                   |  |   | 教育課程検討委員会①  | 教育課程編成の基本方針の確認<br>児童生徒の評価に基づく検討<br>【担任】<br>↓<br>学部会での検討<br>【学部】 | 教育課程検討委員会② |
| 個別の指導計画 | 実態把握の加筆・修正<br>次年度の年間目標の仮設定、学びの履歴チェック<br>【担任】<br><br>後期の評価<br>【授担・担任】 |                              |   | 前年度記載内容の確認<br>【担任】<br>学びの履歴を使った実態把握<br>【担任】<br><br>児童生徒の実態把握<br>【担任・授担】 | 実態把握の記入<br>年間目標・前期目標の設定<br>【担任・授担】                              |  |   | 前期の評価<br>【担任・授担】<br><br>後期目標原案作成<br>【担任】<br><br>学びの履歴のチェック<br>【担任】 |  |   |            |                           |   | 実態把握の加筆・修正<br>次年度の年間目標の仮設定、学びの履歴チェック<br>【担任】<br><br>後期の評価<br>【授担・担任】 |   | 前年度記載内容の確認<br>【担任】<br>学びの履歴を使った実態把握<br>【担任】<br><br>児童生徒の実態把握<br>【担任・授担】 | 実態把握の記入<br>年間目標・前期目標の設定<br>【担任・授担】                              |            |
| 年間指導計画  | R2年間指導計画の評価<br>【授担・担任・学部】  | R3年間指導計画案の作成<br>【学部学年の連携を図る】 |   | 年度始めの見直し<br>【担任・授担・学部】<br>↓<br>年度始めの見直しの確認と<br>※貼り出し<br>【研究部】           | 日常生活の指導の計画<br>前期提出<br>【担任】                                      | 半期の見直し<br>【授担・担任・学部】<br>↓<br>年度始めの見直しの確認と<br>貼り出し<br>【研究部】 | 日常生活の指導の計画<br>後期提出<br>【担任】                          |  |  |   |            | R3年間指導計画の評価<br>【授担、担任・学部】 | R4年間指導計画案の作成<br>【学部学年の連携を図る】                      |  |   | 年度始めの見直し<br>【担任・授担・学部】<br>↓<br>年度始めの見直しの確認と<br>貼り出し<br>【研究部】            |   |            |
| 単元計画    | R2年間指導計画に沿った、単元計画 - 授業実践 - 単元評価<br>【授担、担任】                           |                              |   | 前年度作成したR3年間指導計画に沿った、単元計画 - 授業実践 - 単元評価<br>【授担、担任】                       |   |  | 年度初めに見直したR3年間指導計画に沿った、単元計画 - 授業実践 - 単元評価<br>【授担、担任】 |  |  | 半期で見直したR3年間指導計画に沿った、単元計画、授業実践 - 単元評価<br>【授担、担任】<br><br>R3年間指導計画の評価に向けた単元計画(評価)のまとめ<br>【授担、担任】 |            |                           | 前年度作成したR4年間指導計画に沿った、単元計画 - 授業実践 - 単元評価<br>【授担、担任】 |  |   |   |   |            |

【図-20 カリキュラム・マネジメントフロー図】